

## 令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

### <調査研究報告書タイトル>

保育分野における ICT の導入効果及び普及促進方策に関する調査研究

### <実施主体名>

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

### <報告書の概要>

#### 1. 事業実施目的

保育の周辺業務などの ICT 化によって保育士の業務負担を軽減し、働きやすい職場環境を構築することは保育士の確保に加え、本来業務である保育に力を注ぐことや就業継続にも寄与すると考えられ、保育の質の確保・向上を図る上でも重要である。

一方で、これまで ICT の導入効果の把握は十分になされておらず、保育の ICT 化をさらに推進するためには効果の見える化を図り、ICT に対する不安や懸念を払しょくすることが求められる。そこで、保育の現場において ICT の導入に係る障壁の特定及び効果検証を行うとともに、保育現場で活用できるハンドブックの作成を目的とした。

#### 2. 事業実施内容

保育所等における ICT の導入・活用状況や、ICT 導入前後の変化・効果の検証及び ICT 導入の普及促進に資する要因等の把握を目的として、保育者向けアンケート調査及び保育所等ヒアリング調査を実施した。保育者向けアンケートは、認可保育所、認定こども園（幼保連携型、保育所型）、小規模保育事業に勤務する保育者（施設長等含む）を対象とし、対象条件に合致する 1,849 件の回答を得た。また、保育所等ヒアリング調査は前述の 4 類型を対象とし、ICT 導入済み保育所等（10 か所）及び ICT の導入・活用があまり進んでいない保育所等（3 か所）に対してヒアリングを実施した。

#### 3. 主な成果

保育者向けアンケート調査結果より、保育 ICT の活用と業務負担への影響をみると、ICT の導入や利用をしていない保育者に比べて、ICT を使いこなしている保育者は日頃の保育において業務の負担感が小さく、残業も少ない様子がみられた。また、書類作成等を集中的に行う時間や、保育について振り返る時間が確保できている割合が高いなど、時間の使い方にも違いが現れていた。一方、ICT を利用しつつも使いこなせていない保育者は、必ずしも業務負担の軽減につながっていない様子もみてとれ、導入当初などは一時的に負荷がかかる時期があり、保育者が ICT を抵抗なく使うことができるように職場全体での工夫が必要となることが示唆された。

また、ICT を使いこなせているという保育者の園では、そうではない保育者の園に比べて ICT 推進担当者の設置や導入時・入職時の説明会の開催、ICT を活用できるよう業務の見直しや ICT 活用の目的や意義に係る職員間で認識合わせ等を実施している割合が高く、こうした取組が ICT を使いやすい職場につながっていると考えられた。

ヒアリング調査では、ICT 導入済み保育所等に対しては導入時の課題とその解決のための工夫や導入効果について、ICT の導入・活用が進んでいない事業所に対しては活用が進まない要因や必要な支援等について把握を行った。

これらの調査結果をふまえて、ICT 導入の目的・種類・効果のほか、導入のステップやつまづきやすいポイントとその対策をまとめた保育現場で活用できるハンドブック（保育所等におけるはじめての ICT 活用ハンドブック）を作成した。